

旧川喜多邸別邸(旧和辻邸) 特別公開

第29回日本工芸会東日本支部 伝統工芸神奈川会展 —— 古民家で出会う日本の伝統工芸 ——

今年の旧川喜多邸別邸特別公開は、公益社団法人日本工芸会東日本支部の神奈川県在住者から構成される神奈川研究会の作品を展示します。ご来場をお待ちしています。

2022年11月1日(火)～6日(日)

10時～16時(最終日は15時まで)

会場:鎌倉市川喜多映画記念館
旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)

※本作品展は、特別展「映画をデザインする—小津安二郎と市川崑の美学」(一般400円/小・中学生200円)のチケットでご覧いただけます。

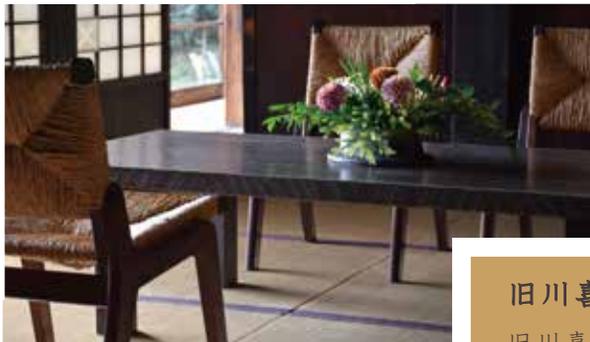
鎌倉市民無料

※要証明書



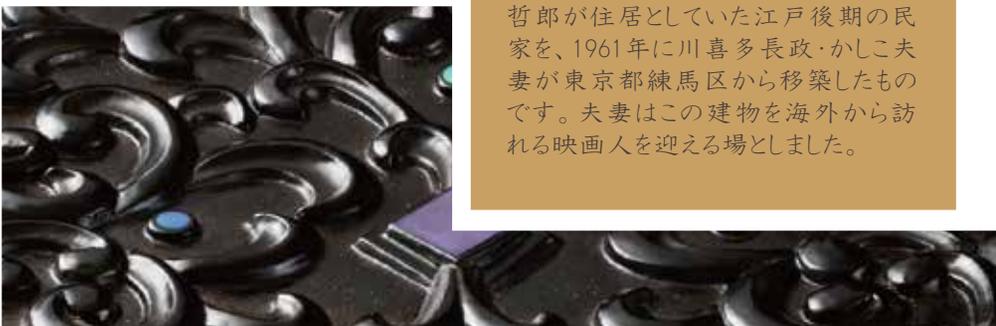
公益社団法人日本工芸会

公益社団法人日本工芸会は、無形文化財の保護育成を図るため組織された、正会員約1300名(重要無形文化財保持者48名含む)が所属している団体です。伝統工芸の専門分野や地域毎に研究会や展覧会を開催するなどの活動をしています。



旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)

旧川喜多邸別邸は、哲学者の和辻哲郎が住居としていた江戸後期の民家を、1961年に川喜多長政・かしこ夫妻が東京都練馬区から移築したものです。夫妻はこの建物を海外から訪れる映画人を迎える場としました。



鎌倉市川喜多映画記念館

伝統工芸神奈川会展は、日本工芸会東日本支部の神奈川県在住の工芸作家により、平成5年に第1回展が開催され、その後毎年作品発表を続けて参りました。

第29回展の今回は、旧川喜多邸別邸にて11月1日(火)～6日(日)迄、開催することになりました。

風格ある古民家と伝統工芸作品(陶磁・染色・漆芸・金工・人形・ガラス・七宝)のコラボは初めてですが、どのようなマッチングになるか、今から楽しみです。

どうぞ多くの方々にご覧いただきたく、よろしくお願ひいたします。

2022.7.吉日

日本工芸会東日本支部神奈川研究会会長 斎藤孝子



1



2



3



4



5

1.高津潤一郎
亜鉛結晶釉組皿
30cm径×2cm

2.松永匠一
螺鈿唐草文皿
36cm×36cm×3cm

3.坂井教人
友禅訪問着「花簾」
(かれん)

4.中島克童
灰釉銀彩縞文鉢
33.5cm径×10.5cm

5.高崎麻美
人形「天籟」(てんらい)
高さ34.5cm



鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

TEL: 0467-23-2500

休館日: 月曜日

主催: 日本工芸会 東日本支部 神奈川研究会

共催: 鎌倉市川喜多映画記念館(指定管理者: 川喜多・KBSグループ)



Kamakura City Kawakita Film Museum

<https://kamakura-kawakita.org>